

2015～2016 年度



世界へのプレゼントになろう

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA NORTH

越谷北ロータリークラブ

例会日:毎週水曜日 12:30～13:30

例会場:越谷市千間台東 1-1-6 クオレ千間台 2F

T E L 048(975)9898

F A X 048(977)3741

創 立:1976年5月11日

会 長 : 大熊 正行

副 会 長 : 関 森 初 義

幹 事 : 会 田 謙 二

会報委員長 : 江 口 公 晴

第 1955 回 例会記録

No. 32

平成 28 年 5 月 25 日

司会 : 須賀 篤史 編集 : 関 雄二郎

会 次 第

1. 点鐘
2. ロータリーソング 「我らの生業」
3. ロータリーの目的
4. お客様紹介
地区青少年育成インターアクト委員会 委員
会田 皓章様
オブザーバー 近藤 慎悟様
5. 会長卓話
6. 幹事報告
7. 3 分間ロータリー情報
8. 委員会報告
9. スマイル報告
10. 外部卓話
地区青少年育成インターアクト委員会 委員
会田 浩章様 「青少年奉仕」
11. 出席報告

次回例会案内 平成 28 年 6 月 8 日
第 5 回クラブ協議会

会長卓話



大熊 正行 会長

先々週の 5 月 14 日(土)は、言わずもがな、当クラブ創立 40 周年記念式典が盛大に開かれて、大成功に無事終えました。朝から準備に携わっていただいたメンバーや浪江 RC や安養冠岳 RC への対応や接待に関わって頂いたみなさん、出席していただいた会員全員に改めて感謝いたします。式典の開始直後から百戦錬磨の司会の堀野さんが、意外にも緊張していたようで、直ぐにその様子が覗いしれました。それが、返って固く厳粛なムードを和らげて会場内も笑いを誘い、リラックス出来たかなとも思います。点鐘から始まり、来賓紹介や会長挨拶も、みっともない恥ずかしい真似だけはしたくないと思っていましたので、ハッキリと大きな声で堂々しようと思っていました。程よい緊張感はありましたが、不思議と全く上がりませんでした。式典での来賓、来訪者の紹介で、一週間前の越谷 RC の場合、役職のつい

た方々は、ほとんど紹介していました。その関係で、来賓・来訪者紹介で 10 分以上掛かりましたので、当クラブの場合は必要最低限に留めようということで、実行委員会で事前に決めておきました。私も、自分でシュミレーションしてみましたら、3~4 分でしたので、そんなに長くはかからないなとは思っていました。では、本来紹介しても良さそうな、第 8 グループの会長やガバナー補佐や他の地区役員を紹介しないための理由や言い回しをどうしようかと思っていました。良く言う「時間の都合で」などと、もしあの時いってしまっていたら、結局 10 分程進行が予定より早く進んでいましたので、「時間の都合」とは言わなくてよかったなと思いました。では、その都合以外の理由、言い回しとしては、どんな言葉が良いのかなと思いました。あのように、「大変恐縮ではございますが、席次表をもちましてご紹介とさせていただきます。何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。」という言葉にしました。

この度の 40 周年式典は、私自身にとっても、二世一代の大舞台、檜舞台のつもりでいましたが、自分自身だけでなく越谷北 RC が、笑われるような振る舞いだけはしまい！と固く心に決めていましたので、普段の例会の会長卓話などとは、比較になどならない、準備と心構えがありました。どこかのクラブの会長には負けたくない！と思っていました。

第一部の式典が、終了した直後や、衣笠祥夫氏の基調講演が終わった後にも、そして祝賀会までのすべてが終了してお客様が退場される時にも、「良かった！よかった！」と多くの方々が口をそろえて、また異口同音に言ってくださいました。または、「いくつもの周年式典に出ているけど一番良かった！」などと声をかけてくれるかたも、いらっしゃいました。数々のおほめの言葉！を頂いて、本当によかったなと思いました。

一緒に式典を迎えたかった、亡くなった石川輝次さんと小河内さんが天国で笑顔で見守っていてくれたのかな？とも思いました。式典前日の 13 日（金）に、韓国安養冠岳 RC の皆さんを成田迄出迎えに行き、三日間お世話をして、無事に成田まで送り届けるまで、気が抜けなかったです。お酒が強くて好きな人が多かったので、夕食に連れ出した後も必ず、二次会も設営して、11 時から 12 時くらいまでは、どこかの居酒屋あたりで飲み続けて、ようやくそこで初めてホテルに送って別れるのですが、後で聞いたら、飲み足りなくて、コンビニで酒を買ってきて、部屋呑みしていたらしいです。改めて韓国の人たちの酒の強さを思い知らされました。限られた旅行日程であり観光や遊びの時間も無く、子供たちが初めての日本だということだったので、もう少し色々なところへ、連れまわせたらかったかなとも感じました。式典翌日の 5 月 15 日（日）には、安養冠岳 RC のメンバーも帰る日でしたので、私と会田幹事、須賀副幹事と今井会員がロイヤルパインズホテルに泊まり、翌日には大濱会員も合流して、5 人で都内観光と成田までの見送りに行きました。三日間とも好天に恵まれてなによりでした。安養冠岳 RC の皆さんも、大変喜んでくれていたのと同時に、通訳の李 美貞さんの話では、世界大会の時の越谷北 RC メンバーへの応対や、来年の 30 周年式典をしっかり準備して、ビシッとやらなければいけないなどと、しきりに心配していたようです。成田から越谷に帰ってきてから、見送りに行ったメンバーに数名の会員が加わり、通訳の李 美貞さんとともに、慰労会のようなミニ打上げをしましたが、少しお酒を飲んだら、どっと疲れが出て、酔いも回って眠くもなってしまったので、私だけ皆さんより早く帰りました。今週の 28 日、土曜日から世界大会へ 当クラブ 17 名、中クラブ 4 名の計 21 名で韓国に行つて参ります。

越谷北ロータリークラブ

「楽しく奉仕を、深めよう親睦を」

2015-2016 大熊正行会長 提言

ホームページアドレス <http://koshigayakitarc.dyndns.org/>

また、安養冠岳 RC のメンバーとの交流が楽しみです。しっかり体調を整えて行ってきたいと思えます。

幹事報告



会田 謙二 幹事

- ・「国際交流だより 39 号」が届いております。掲示します。
- ・16-17 年度の RC 手帳が 20 冊あります。希望者をご購入ください
- ・6/23 越谷市商工会議所設立記念式典に大熊会長が出席します
- ・6/8 第 5 回クラブ協議会を開催します。委員長が欠席の場合は副委員長の出席をお願いします。
- ・今週末から国際大会がソウルにて開催されます。参加される方は、気をつけて行ってきて下さい。

委員会報告

- ・40 周年実行委員会: 関森初義委員長
5 月 14 日浦和ロイヤルパインズにて 40 周年式典が無事開催され会員の皆様には早朝より当日のおもてなしを一致団結して迎えられたと思います。年初より 40 周年記念式典基本方針を掲げましたが、部門長を始め前日まで打ち合わせを踏まえながらご来賓の皆様に対するおもてなし、最後までお見送り、先人の伝統と歴史を継承して無事式典を終えることが出来たと思います。次の 50 周年に向けて進んでいきたいと思っております。本当に有難うございました。
- ・親睦活動委員会: 宮崎 敏博委員長
6 月 29 日大熊年度最終例会を、汐留にて行います。

出欠の案内をお送りしますが、当日はバスにて移動しますので、多くの皆様参加をお願いします。

- ・社会奉仕委員会 : 大島 直幸委員長
5 月 22 日ゴミゼロ運動ご協力ありがとうございました。

3 分間ロータリー情報



一柳 昌利会員

「ポリオ撲滅は果たして可能か」

イスラム武装組織(イスラミック・ステート)のポリオ撲滅活動の妨害によってポリオ 撲滅運動は危機に立たされています。ロータリーがイニシアティブを取って、この運動があたかも最終段階に達したように宣伝していますが、世間からはロータリーのポリオ撲滅に対する存在はほとんど無視され、WHO(世界保健機関)やビル・ゲイツや各国政府やユニセフや「世界ポリオ撲滅イニシアチブ(GPEI)」の名前はでてくるものの、ロータリーの口の字も出てこないのは非常に残念なことです。しかしこれはロータリーが自己礼賛しているだけであって、世間から見たらロータリーの現実の活動はとるに足りないものであることを物語ることを猛省すべきかもしれません。以下[2014 年 7 月 29 日号の NEWSWEEK の記事をご紹介します。手足の麻痺を引き起こしたり場合によっては命にも関わる感染症、ポリオ(小児麻痺)。この病気の予防・撲滅を目指す活動には、マイクロソフトの創業者ビル・ゲイツらが年間 10 億ドル以上の資金を寄付している。WHO によればこうした活動のかいあって、1988 年以降ポリオの発生数は 99%も減少した。にもかかわらず、世界には今もポリオが激増している地

域がある。ナイジェリアと パキスタン、アフガニスタンのイスラム武装組織が支配する地域だ。「ポリオワクチンの接種プログラムが襲撃の標的になっている」と、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団などの支援を受けて WHO やユニセフ(国連児童基金)などが展開する「世界ポリオ撲滅イニシアチブ(GPEI)」の報告書は指摘する。「最前線で活動していた 25 人以上のスタッフが、予防接種プログラムに関与したという理由で殺されている」ナイジェリアでは、北部で勢力を伸ばしているイスラム武装組織ボコ・ハラムが、パキスタンやアフガニスタンではタリバンが、外国人の医療関係者を欧米諸国のスパイではないかと疑って襲撃している。過去には実際、医療支援がスパイ活動に利用された例があった。CIA(米中央情報局)は 2011 年、偽の予防接種プログラムを隠れみのに使用して、国際テロ組織アルカイダの最高指導者ウサマ・ビンラディンの行方を突き止め、殺害に成功した。そのせいで予防接種活動をめぐる状況はさらに悪化したと、メーランド大学に本拠を置く研究機関「テロおよびテロ対策研究のための全米コンソーシアム」の研究者でボコ・ハラムに詳しいエイミー・ペートは言う。「予防接種の関係者が直接狙われるようになった。(予防接種関係の)組織は外国政府の手先だという彼らの主張の一部が正当化されてしまった」GPEIによれば昨年以降、ナイジェリアで 53 例、パキスタンで 93 例のポリオの発症例が確認されている。WHO のマーガレット・チャン事務局長は 5 月、ポリオウイルスの感染が拡大しているとして「国際的な公衆衛生上の緊急事態」を宣言した。ボコ・ハラムは昨年 2 月に予防接種プログラムの関係者 9 人を殺害したほか、今年 3 月には 3 人を誘拐した。襲撃の背景には、外国人医療関係者への不信感に加え、欧米の科学や教育、医療がイスラムの教えに反するという考え方がある。「ボコ・ハラムとパキスタンやアフガニスタンのタリバンは、イデオロギーや戦略も同じなら、もたらす危険も同じだ」と、ナイジェリア公民権会議の

シェフ・サニ議長は英ガーディアン紙に語っている。さらに WHO は、つい先日、シリアでポリオ感染を確認、中東で拡大の恐れがあると発表しました。[ジュネーブ 29 日 ロイター] -世界保健機関(WHO)は 29 日、内戦が続くシリアの北東部でポリオのウイルスが確認されたと発表した。中東地域で感染が拡大する恐れがあるとしている。イラク国境に接するデリゾール県で 17 日、22 人の子どもに体のまひが確認され、このうち 10 人のサンプルからポリオのウイルスが見つかったという。残る 12 人の結果は数日以内に出る予定。22 人の大半は 2 歳未満だった。シリアでポリオの発生が最後に確認されたのは 1999 年だが、同国では長期化する内戦により、ワクチン接種を受ける子どもが減少している。ポリオが常在しているのはナイジェリア、パキスタン、アフガニスタンの 3 カ国で、外国からの兵士などがウイルスをシリアに持ち込んだ可能性が高いという。WHO のブルー・ス・エイルワード氏は、シリアで確認されたケースがパキスタンで発生したウイルスに関連しているとの見方を示した。RI は相変わらず 1 桁単位の発表を繰り返していますが、この 2~3 年は予防接種はもちろん、実態調査すら行われていないことは周知の事実です。内戦に乗じて一気に千人単位でポリオが蔓延する危険性すら否定できません。パキスタンとの国境地帯ならいざ知らず、ニューデリーの街中でデモンストレーションをすることが、果たして、ポリオ撲滅に如何ほどの効果があるのでしょうか。イスラムと比較的親密な日本のも出番はないのでしょうか。RI が何もしないのなら、日本のロータリーとして何か尽くす手はないのでしょうか。

外部卓話



地区青少年育成インターアクト委員会 委員
会田 浩章様

青少年奉仕における各ロータリアンの責務は、年齢 30 歳までの若い人すべてを含む青少年の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確実なものとするため青少年の生活力を高める事によって、青少年に将来への準備をさせる事です。全てのクラブと地区は、青少年の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するよう奨励されています。基本的ニーズとは、健康、人間的価値、教育、自己開発です。また、ロータリー・クラブは、地域社会レベルで、青少年が地域の指導者と関心事を話し合い、希望、夢、抱負を表明し、自分と地元地域社会と問題の解決策を探るための討論の場を提供すべきである。

(青少年奉仕プログラム)

青少年のため RI 常設プログラムには、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム、ロータリー青少年交換があります。

○インターアクト

12～18 歳までの青少年のための国際ロータリーの奉仕クラブです。インターアクト・クラブは、支援や指導を与えるロータリー・クラブが提唱して結成されますが、運営面でも経済的にも自立しています。

○ローターアクト

18～30 歳までの青少年男女のための、ロータリーが提唱する奉仕クラブです。ローターアクト・クラブは通常、地域社会または大学を基盤としております。

○青少年交換

ロータリー青少年交換に参加する学生は、最高で 1 年間、母国以外での国でホストファミリーと生活を共にし学校に通います。ロータリーの長期と短期の青少年交換プログラムによって、参加者は新しい生活様式、新しい言語、そして自分自身についても多くの事を発見する事になります。また参加者は、自国の文化、自分の考えを出会った人々に伝える若き親善大使として、親しい友達を作りながら、世界を一つにする役割を担います。

○青少年指導者プログラム RYLA

ロータリー青少年指導者養成プログラムは、ロータリーが実施する若者たちのための研修プログラムです。対象となる年齢は 12～30 歳の青少年ですが、多くのクラブや地区では、12～18 歳、19～30 歳など、年齢を絞って実施しています。

(青少年とのかかわり)

私が所属している越谷東ロータリー・クラブでは越谷東高インターアクト・クラブを提唱し青少年活動を行っております。また、直接 RI の常設プログラムではないのですが、それよりも前から越谷市高校野球大会を開催し高校生とかかわりを持って今年で 15 年になります。先ほどから言ってきた青少年の基本的ニーズに応える機会として取り組んで来ましたが、その間には様々な出来事やドラマがありました。そもそも甲子園には結びつかないローカルな大会であり、高校生に喜んでもらえるかな・・・程度の認識でした。しかし大会が始まってみると、頭部に死球を受け選手が救急車で搬送されるまで監督に「試合に出して下さい。」と訴えた事や、打たれた悔しさにベンチ裏のガラスを割ってしまった選手もいました。一番心に残っているのは、高校の先生方との反省会で、ある高校の監督さんがこう話してくれました。「大会期間中登録変更可のローカル大会だから普段背番号をもらえない選手に、頑張っているからこの大会背番号をあげました。するとその子の母親から「本当にうちの子が背番号をもらえたのですか、この子が頑張った証しだ

越谷北ロータリークラブ

「楽しく奉仕を、深めよう親睦を」

2015-2016 大熊正行会長 提言

ホームページアドレス <http://koshigayakitarc.dyndns.org/>

から一針一針涙ながら縫わせてもらいました。」との報告があったとの事。背番号をもらえない選手たちにも夢と希望を持ってもらえる事を、旨とした大会でありたいと思った意図が的中したわけですが、ある意味そこまで子どもたちが真剣に取り組むものかと、機会を提供した私達の方が自己満足の程度でいたように思われます。逆に高校生達の真剣さにいつしか忘れていたものを思い出させてもらったように思います。私達はロータリアンの責務として青少年のニーズを認識し将来の投資の意味も込め様々な出会いや体験をプログラムに込め提供してきましたが、人としては私達も子どもたちから学ぶものも多いと思います。私達も真摯な気持ちでこれからも青少年とのかかわりを持ち続けて行きたいものです。

😊 スマイル報告 😊

・先日の 40 周年記念式典、皆様のご協力により無事終了することが出来ました。大変有難うございました。

大熊正行

・本日は宜しくお願いします。

会田皓章

・地区青少年育成インターアクト委員、会田皓章様ようこそ。本日卓話宜しくお願いします。小宮山さん卓話宜しくお願い致します。オブザーバー近藤様ようこそいらっしゃいました。

大熊正行 会田謙二 松崎義一 今井英治

松井昭夫 岡崎勲 青木清 一柳昌利

小宮山大介 堀野眞孝 関森初義

宮崎敏博 鷹島綾子

・越谷北 RC40 周年記念式典盛大に催し素晴らしい例会でした。

櫻井智之

・この度は父の葬儀で大変お世話になりました。有難うございました。

市川洋和

・世界平和の為に。会田様卓話宜しくお願いします。

大濱裕広

一柳昌利

・ゴミゼロ有難うございました。

大島直幸

・遅れてすみません。

黒田幸英

・創立 40 周年記念式典を終え気持ちを引き締め新たな気持ちにて取り組んで参ります。本日も宜しくお願い申し上げます。

新沼徹

・本日もよろしくお願ひします。

川島徹 高瑠美子

・世界平和のために。

末木照久 酒井新樹

出席報告

会員数	56 名
出席免除者	17 名
出席者	44 名
欠席者	12 名
出席率	85%

2016年ソウル国際大会 安養冠岳RC合同例会

平成 28 年 5 月 28 日～30 日 於 ソウル

2016 年国際大会がソウルで開催される前日に第 2770 地区ガバナーナイトが開催されました。出発時には羽田空港で大韓航空機による事故でガバナーエレクトを始め多数の方が搭乗しておりましたが、危うく難を逃れ当日は総勢 500 名程の参加者の中盛大に行われました。



井原 實ガバナー夫妻

浅水尚伸ガバナーエレクト夫妻

越谷北ロータリークラブ

「楽しく奉仕を、深めよう親睦を」

2015-2016 大熊正行会長 提言

ホームページアドレス <http://koshigayakitarc.dyndns.org/>



乾杯の様子



地区副幹事ご苦労様です



ソウル国際大会会場



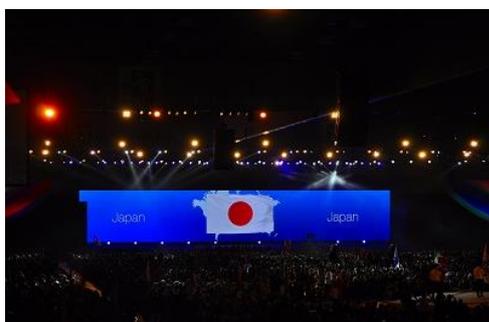
朝早くから集合で疲れていますが・・



前日登録会場の様子



大会開始につれ会場内は、ほぼ満席へ



各国の紹介



約 5 万人以上収容の会場内にて



2016 年 RI 会長



国際大会会場 (KINNTEX) にて



国連事務総長



友愛の広場
様々な催しや販売会



友愛の広場



記念撮影



会場での民族舞踊



今後も変わらぬ友好を



例会開会 両国国歌斉唱



松井 昭夫会長エレクトより挨拶



大熊 正行会長よりご挨拶



越谷中 RC 小池会長バナー交換

越谷北ロータリークラブ

「楽しく奉仕を、深めよう親睦を」

2015-2016 大熊正行会長 提言

ホームページアドレス <http://koshigayakitarc.dyndns.org/>



会場を移して 2 次会スタート



越谷中 RC の皆様も



ビールで乾杯



お疲れ様でした



例会・懇親会も終わりホット一息



金山跡地見学

安養冠岳 RC のメンバーの方に案内して頂きました

ソウル国際大会、安養冠岳 RC 合同例会お疲れ様でした。沢山のおもてなしを受け感謝しております。来年は姉妹クラブの安養冠岳 RC 創立 30 周年になります。より多くの皆様の参加をお願い致します。